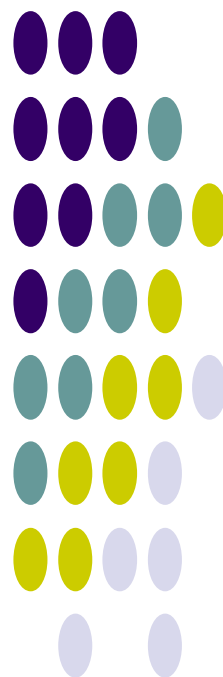


# isj 日本画像学会

## 2007年度表彰

学会賞 ● 細矢雅弘  
功労賞 ● 中山喜萬, 深瀬康司  
論文賞 ● 面谷 信, 小島 聡  
研究奨励賞 ● 大野 玲, 長山智男, 伊藤めぐみ  
会長特賞 ● 武田布千雄, 中島淳三, Inan Chen  
技術賞 ● 京セラミタ(株) 田中作白, 中植隆久, 坂田昌一  
太田克哉, 石原 力  
技術賞 ● (株)アルバック 小田正明, 林 茂雄  
大沢正人, 林 義明, 鄭 久紅  
日本画像学会コミニティ研究奨励賞 ● 水口 仁  
日本画像学会コミニティ研究賞 ● 土井孝次



2008年6月25日(水)  
アルカディア市ヶ谷

## ☆学会賞(第15回) 1件

細矢 雅弘 (ほそや まさひろ) (株東芝)



受賞理由：非磁性一成分現像による電子写真技術の開発  
非磁性一成分現像技術及びクリーナレス技術の開発に  
関して、理論と実験の両面から多くの論文を発表すると  
共に、現在の小型電子写真プリンタ技術の主流技術を開  
発し実用化を行い、我国における画像技術の発展に大き  
く貢献した。

## ☆功労賞(第15回) 2件

中山 喜萬 (なかやま よしかず) (大阪大学 教授)



受賞理由：1994年に学会理事に就任し、1994年から2000  
年まで国際交流委員会委員長、1999年から2004年まで技  
術賞選考委員会委員長、2000年から2002年まで関西支部  
長、2002年から2003年まで技術委員会委員長、2005年か  
ら現在まで関西支部長を歴任し、さらに1995年のJH95の  
実行委員長を務めるなど、多岐にわたる学会活動に従事  
し、学会の発展に多大なる貢献をした。

深瀬 康司 (ふかせ やすじ) (富士ゼロックス株)



受賞理由：1998年に学会理事と同時に事業委員長に就  
任以来、コンファレンス委員、会勢拡大委員、  
PPIC'08実行副委員長、更に2006年度はIS&Tプログラ  
ム委員長を歴任し、多岐にわたる学会活動の企画運営  
に従事し、学会の発展に多大なる貢献をした。

## ☆論文賞(第22回) 1件

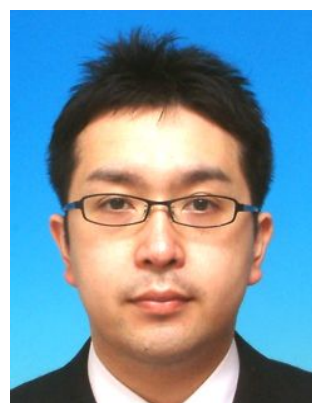
「金色の認識メカニズムの解明」  
日本画像学会誌 第169号

面谷 信 (おもだに まこと) (東海大学 教授), 小島 聡 (こじま さとし) (東海大学 現: 千代田グラフィア)

受賞理由: 色彩としての金色は所謂黄色に近いものであるが、人が金色と判断するためには対象領域に一定以上の広さが必要であるという既往研究を発展させ、画像中の対象物の形状認識と色彩認識との時間的な(あるいは脳の処理順としての)前後関係を実験により検証し、明確な結論を導いている点が評価された。さらに最近関心を集めている感性評価の手法を確立する手がかりとなる可能性も持ち合わせている点が評価された。



面谷 信



小島 聡

## ☆研究奨励賞(第15回) 3件

大野 玲 (おおの あきら) (東京工業大学)

「モンテカルロシミュレーションを用いた液晶材料の電荷輸送特性の評価」  
Imaging Conference Japan 2007, pp. 245-248



受賞理由: 液晶性有機半導体の電荷輸送に関し2次元モンテカルロシミュレーションを用いて検討した結果、Disorder Modelで説明できることを示し、種々相の電荷輸送を統一的に説明出来る可能性を示した。

長山 智男（ながやま のりお）（大阪大学 現：(株)リコー）

「ゲート電極/絶縁層界面に薄いホール輸送層を有する有機電界効果トランジスタのメモリー動作特性」

Imaging Conference Japan 2007 Fall , pp. 47-50



受賞理由：ホール輸送層を有した有機電界効果トランジスタのメモリー特性について検討した研究で、有機感光体技術を利用したユニークな研究である。有機半導体の実用化に向けて多くの示唆を与えている。

伊藤 めぐみ（いとう めぐみ）（キヤノン）

「変角分光シミュレーションによる描画技法解析」

Imaging Conference Japan 2007 Fall , pp. 25-28



受賞理由：画像の立体構造を考慮した変角分光反射率のシミュレーション技法を応用し、中世以降の様々な描画技法の絵画の観察者からの見え方を解析したもので、デジタルアートの複製・保存分野だけでなく、画像の質感向上のためのあるべき画像の層構成、染顔料分布などを最適化するためのヒントを得られる先進的な取り組みである。

## ☆会長特賞(第8回) 3件

武田 布千雄 (たけだ ふじお) (東北リコー(株))



受賞理由：1984年から、多数にわたる学会発表・論文投稿により、電子写真技術（主に現像プロセス）の技術革新に貢献した。さらに、1988年から2007年にわたり、技術委員会第2部会に参加し、シンポジウムの企画運営、電子写真関連米国特許・技術文献リストの編集・発行のとりまとめを行い、多岐にわたる学会活動の企画運営に参加し、学会の発展に貢献した。

中島 淳三 (なかじま じゅんぞう) (元日本画像学会)



受賞理由：ノンインパクトプリンタの黎明期において、電子写真プロセス技術の基礎となる現像・転写プロセス及び新規な記録方式の提案を行い、画像技術の発展に貢献した。学会活動においては1986年に論文編集委員に就任以来、学会理事、用語委員会主査、初代事務局長を歴任し、学会の円滑な運営と、本学会事務局の礎構築に多大な貢献をした。

I n a n C h e n (Q E A)



受賞理由：電子写真デバイスおよびプロセスに関する数値解析を行い電子写真技術の進歩に多大な貢献を行った。さらにNIP国際会議などを通じて日米の国際交流に貢献した。

## ☆技術賞(第18回) 2件

技術：「エコロジー対応A3カラータンデムMFP KM-C4035Eシリーズ機の開発」

京セラミタ株式会社

田中 作白（たなか なりあき）、中植 隆久（なかうえ たかひさ）、坂田 昌一（さかた しょういち）、太田 克哉（おおた かつや）、石原 力（いしはら ちから）

受賞理由：a-Siドラムの長寿命化にあわせ、ベルト、現像器、帯電ローラーなどの主要デバイスの寿命を30万枚に引き上げた技術開発は高く評価される。中でもDCプラズマCVD法による a-Siドラムの製法は新しいコンセプトに基づいており、性能、製造品質、コストの面で非常に優れている。また、環境配慮型エンジンの製品化は社会的価値も高いと判断する。



田中 作白

中植 隆久

坂田 昌一

太田 克哉

石原 力

技術：「独立分散金属ナノ粒子インクを用いたインクジェット印刷による導電膜形成」  
株式会社アルバック・コーポレートセンター

小田 正明（おだ まさあき）、林 茂雄（はやし しげお）、大沢 正人（おおさわ まさと）、林 義明（はやし よしあき）、鄭 久紅（てい きゅうこう）

受賞理由：デジタル・ファブリケーション技術の主たる応用分野である回路形成に独立分散金属ナノ粒子インクを用い、インクジェット技術の適用を可能にした点、ナノ粒子の高分散性能をユニークな作成方法で確立している点が評価できる。また、回路形成上の工程短縮、環境負荷低減、省資源など従来の生産技術を革新する示唆的技術であり、社会的意義も大きい。



小田 正明

林 茂雄

大沢 正人

林 義明

鄭 久紅

## ☆日本画像学会コニカミノルタ研究奨励賞(第3回) 1件

水口 仁 (みずぐち じん) (横浜国立大学 教授)



分子配列の変化を利用した新規な電子ペーパーの構想

受賞理由：ペリレン/ペリノン系顔料の中に分子配列の変化により、色調が劇的に変化するものを見出した。この現象を電子ペーパーに応用し、レーザーによる書き込み、また圧力ローラーにより消去する新規なシステムの基礎を確立した。

## ☆日本画像学会コニカミノルタ研究賞(第3回) 1件

土井 孝次 (どい たかつぐ) (富士ゼロックス(株))

「高速・高画質を実現する新規水性インクジェットインク技術」

Imaging Conference Japan 2007, pp. 133-136



受賞理由：高速性と画質を両立させる新規なインクジェット技術についての報告である。印字の前に処理剤を塗布し、「印刷物の乾燥」を解決したもので、顔料の凝集技術に関して種々の凝集剤及び顔料についての考察が系統的になされており、インク設計の指針が明確に示されている。

# 受賞者リスト



## 学会賞

1993 井上英一  
菊池真一  
1994 三川 禮  
1995 小門 宏  
坂田俊文  
1996 河村孝夫  
1997 木原信敏  
1998 本庄 知  
1999 栗田隆治  
2000 遠藤一朗  
2001 高橋恭介  
2002 横山正明  
2003 碓井 稔  
平倉浩治  
2004 村山徹郎  
2005 水口 仁  
2006 竹内 学

## 功劳賞

1993 木脇久智  
近藤厚実  
1994 窪田啓次郎  
坂巻資敏  
松井 茂  
1995 今村舜仁  
中村堅一  
1996 柿井俊一郎  
江田研一  
野田栄三  
山本 隆  
1998 昼間健治  
山口隆司  
1999 高島祐二  
土屋元彦  
2000 田嶋紀雄  
2001 情野國城  
2002 本庄 知  
滝口孝一  
2003 小口寿彦  
2004 大野 信  
北村孝司  
木村正利  
2005 横山正明  
鈴木 明  
2006 鈴木弘治  
高橋 通  
星野坦之

## 論文賞

1977 本庄 知、田口誠一  
1981 高橋 通、細野長穂、神辺純一郎、豊野 勉  
1983 下木原 滋、加藤義明、板倉良介、横山正明、三川 礼、高島祐二、石田英輔、粒崎 繁、弓場上恵一、下間 亘  
1985 河村尚登、門脇秀次郎、北島信夫  
1987 武田布千雄、坂本康治、小林一雄  
1989 寺尾和夫、稲葉 繁、伊藤健介  
1991 松井乃里恵、岡 孝造、稲葉義弘  
1993 細矢雅弘、齋藤三長、佐々木幸雄、木村正利、中島淳三  
1994 池側彰仁、後藤 浩、岩佐英二、江ノ口祐次  
1995 岩田尚貴、鈴木弘治、西土和宏、沢田 彰  
1996 村井和昌、小勝 齊、喜多伸児  
1997 本間寿一、横山正明  
1998 保坂靖夫、中尾英之  
1999 宮坂 徹、山本雅志、島田 昭

## 会長特賞

2000 羽根田 哲  
2001 情野國城  
Min-Kai Tse  
2002 安達春夫  
2003 平原修三  
安達昭三  
2004 金 栄順  
上原利夫  
2005 安藤祐二郎  
金 銀慶  
2006 稲垣敏彦  
緒方信康

## 研究奨励賞

1984 武田布千雄  
1985 梨木恵一  
1986 高橋隆一  
1987 笠井利博  
1988 小田 元  
佐々木幸雄  
山本 肇  
1989 小寺宏暉  
柳田和彦  
1990 細矢雅弘  
松井乃里恵  
山口康浩  
1991 面谷 信  
田中俊春  
弘重祐司  
1992 上原康博  
松井利一  
1993 赤木秀行  
園田泰子  
堀田吉彦  
1994 梅田 実  
古川和彦  
村井和昌  
1995 天野哲也  
勝目 正  
古谷信正  
1996 長山智男  
平本昌宏  
松本卓士  
1997 小谷野 武  
平川弘幸  
山口幸生

1998 中山信行  
李 源涉  
1999 久保田哲行  
趙 国来  
福本 宏  
2000 原田陽雄  
高橋朋子  
2001 金澤祥雄  
水口由紀子  
2002 平林 純  
村本秀也  
2003 町田義則  
長山智男  
大石亮太  
2004 中嶋道也  
紅林良之  
真常 泰  
2005 春原聖司  
藤本慎也  
2006 田中俊介  
坂本 祥

## 名誉会員

2001 井上英一  
近藤厚実  
窪田啓次郎  
三川 禮  
坂田俊文  
2002 小門 宏  
今村舜二  
2003 河村孝夫  
江田研一  
2004 高橋恭介

## 日本画像学会コニカミノルタ研究奨励賞

2005 山口留美子  
2006 谷中一寿

## 日本画像学会コニカミノルタ研究賞

2005 藤本慎也  
2006 坂本 祥





## 論文賞(つづき)

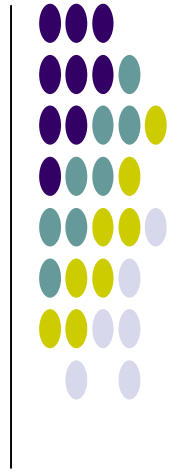
- 2000 水口 仁、遠藤彩映、松本真哉、平林 純、高橋 通  
2001 情野國城、弓削静雄、上村正雄、 船山康弘、堀健志、吉井朋幸、上菌勉  
2002 渡辺 崇、近内健護、星野坦之  
2003 小寺宏暉  
2004 水口 仁、今永俊治  
2005 真常 泰、八木 均、高橋正樹、石井浩一、高須 勲、細矢雅弘  
牧野崇史、井村康朗、日達昭夫、岩田昭平、水口 仁  
2006 物部祐亮、山下春生、黒沢俊晴、小寺宏暉  
藤山高広、杉本賢一、関口未散

## 技術賞

- 1987 キヤノン(株) OPCとジャンピング現象を用いたカートリッジシステム、ミルカメラ(株)パインダ型小粒径キャリアを用いた現像システム(マイクロニング方式)、(株)リコー 高感度積層型OPC感光体の開発  
1991 キヤノン(株)帯電ローラ/転写ローラシステムの開発、富士ゼロックス(株)1パス2カラー電子写真プロセス技術、ミルカメラ(株)レーザー強度変調画像再現システムの開発  
1992 キヤノン(株)ワイヤレス熱定着システムの開発、富士ゼロックス(株)高画質デジタルカラーセログラフィ技術、(株)リコー4ドラムデジタルカラー電子写真システム  
1993 日立工機(株)高速レーザービームプリンタ用半導体レーザー光学系の開発、(株)リコー省スペース高画質デジタルカラーPPCの開発  
1994 富士写真フイルム(株)TA方式フルカラーハードコピーシステムの開発、松下電器(株)感光体内部磁石を応用した小型1成分現像方法、(株)リコー 高分子/低分子複合型熱可逆記録材料の開発  
1995 セイコーエプソン(株) Mach-Jet技術の開発、富士ゼロックス(株)ハイライトを重視した新規スクリーン技術“HIEST”、ミルカ(株)フロッタスキャナにおける歪補正技術  
1996 アルプス電気(株)高精細600dpi溶融熱転写印刷技術、(株)東芝、(株)テック 一成分非磁性現象を用いたクリーナレスプロセスの開発  
1997 富士ゼロックス(株) 高精度カラー・レーザー・レジストレーション技術、日立工機(株)マルチビーム斜め走査技術による超高速レーザープリンタ  
1998 沖電気工業(株)1200 dpi 高発光効率 LED ヘッド、富士ゼロックス(株)高精度カラーマッチング技術(フレキシブルGCR、3D-ACCT)、山梨電子工業(株)有機感光体の光感度制御技術  
1999 キヤノン(株)デジタルカラー用重合トナーの実用化、富士ゼロックス(株)Color Laser Wind 3310「カラー高画質化技術」、松下電器産業(株)消耗品をオールインワンカートリッジ化したカラーレーザープリンタ  
2000 京セラミタ(株)電子写真OPC用高性能電子輸送材料の開発、富士ゼロックス(株)高画質フルカラープリンタ・複合機Docucolor 1250/1255シリーズの開発  
2001 沖デジタルイメージング(株)高速高密度1200dpiLEDプリントヘッド、富士ゼロックス(株)オンデマンドカラープリンティングシステムColorDocuTech60の開発  
2002 富士ゼロックス(株)高画質と低環境負荷を両立する乳化凝集法チナー(EAトナー)の技術開発、(株)リコー 高速カラーレーザープリンタIPSi0 Color 8000/8100シリーズの開発、キヤノン(株)注入帯電クリーナーレスシステム  
2003 キヤノン(株)カラーIH(電磁誘導加熱)定着方式の開発、東芝テック(株)電磁誘導加熱による定着器の開発、京セラミタ(株)世界最小カラータンデムプリンタFS-5016Nの開発  
2004 富士ゼロックス株式会社「面発光VCSELを用いた2400dpiレーザー露光装置の開発」、株式会社リコー「電気二重層キャパシタ補助電源による省エネ定着技術」  
2005 富士ゼロックス株式会社「冷却剥離による高画質定着装置MACSの開発」、株式会社東芝「消せるトナー「e-blue™」の開発」  
2006 パナソニックコミュニケーションズ株式会社「カラーIH定着器の加熱幅制御技術」、花王株式会社「新規粉砕法による高速高画質オイルレス対応ポリエステルトナー」

## 【2007年度選考委員会委員リスト】

- A) 学会賞、功労賞、会長特賞、名誉会員、KM研究奨励賞、  
委員長 北村孝司(千葉大学)  
委員 面谷信庶務委員長、竹内学技術委員長、中山喜萬関西支部長、半那純一国際交流委員長、北久保茂編集委員長、深瀬康司事業委員長、星野勝義企画委員長、岡建樹財務委員長、阿部隆夫コンファレンス委員長
- B) 技術賞  
委員長 竹内学技術委員長  
委員 木村正利(富士ゼロックス)、畝田直樹(セイコーエプソン)、中居仁司(ブラザー工業)、深瀬康司(富士ゼロックス)、平倉浩治(リコー)、細矢雅弘(東芝)
- C) 研究奨励賞  
委員長 平倉浩治(リコー、ICJ実行委員長)  
委員 ICJ実行委員会委員が担当
- D) 論文賞  
委員長 北久保茂(日本工大、編集委員長)  
委員 編集委員会委員が担当



***isj***